

2000年度【2000年8月1日～2001年7月31日】  
特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）  
事業報告書

アリスセンター事業の見直しと今後の方向性の模索

1．アリスセンターの目的の確認と中期目標の設定

2000年度は、アリスセンターがNPO法人化し今後の方向性を本格的に模索した年となりました。1999年度に行った「神奈川の地域課題調査」（アリスセンターの発足からこれまでの神奈川の市民活動の動きとアリスセンターの変遷を分析）や、会員などこれまでアリスセンターに関わりのあった人たちに対するアリスセンター事業評価のアンケート調査の結果をもとに、理事会で今後のアリスセンターの目的を確認し、中期目標を設定しました。

目的のひとつは、「地域社会の自立に向けた社会システム・制度の実現」であり、中期目標としては「神奈川におけるNPOと行政の協働システムの本格的稼働」と「神奈川におけるNPOと企業の協働システムの本格的稼働」をめざすものです。目的のもうひとつは、「地域社会における多様な主体間の合意形成」であり、中期目標は「地域のNPOシップの養成」と「NPOの合意形成・政策提案力の向上」です。

2．アリスセンターの機能

これらの目的と中期目標を実現するための機能として、「アドボカシー（政策提言）機能」「キャンペーン（情報発信）機能」「コンサルティング機能」の強化をはかる必要があると思われる。

アドボカシー機能としては、特に「NPOと行政の協働システム」という中期目標を見据えて、2000年度には、かながわボランティア推進基金21に対する政策提言に積極的に取り組んできました。キャンペーン機能としては、アドボカシーを進めるための世論喚起、意見集約をインターネット（ホームページやメール）を活用し試みました。

3．情報発信手法の多様化

2000年8月には、ホームページをリニューアルし、月2回更新することにより、キャンペーンの手段とするだけでなく、新着情報の発信やアリスセンターの情報公開に積極的に取り組みはじめました。

さらに、2001年1月からは、これまでの「らびっと通信」を、月2回発行するメールマガジンを主体とした「らびっとにゆうず」と、年4回発行する「たあとる通信」に変更しました。「らびっとにゆうず」では速報性、「たあとる通信」では分析・政策提言と、機能分化をはかりました。

こうした変更とともに会員以外の希望者への「らびっとにゆうず」配信、アリスセンターの事業への参加呼びかけや発行物の案内などを、様々なNPO関係のメーリングリストに投稿したり、会員以外のNPO関係者、自治体関係者へのメール、FAXでお知らせしたりすることで、これまでより幅広い層への情報発信に力を入れてきました。

会員状況

	1999年度末 (2000年7月末)	2000年度中の 入会者(団体)	2000年度中の 退会者(団体)	2000年度末 (2001年7月末)	増減
正会員	115 (153口)	11	6	120 (156口)	+5
準会員	139	24	11	152	+13
賛助会員	0	1 (1口)	0	1 (1口)	+1
合計	254	36	17	273	+19

退会者は会費未納により、定款にもとづいて退会とみなした件数も含む

らびっとにゆうず配信状況(2000年度7月末現在)

	会員	資料交換	その他	合計
メールマガジン	165	12	74	251
F A X	66	17		83
郵送	25	0		25

ホームページアクセス件数(2000年度7月末現在)

9900件

2000 年度事業概要

事項項目	実施事業・プロジェクト	報告頁
(1)まちづくりに関する 相談・コンサルティング	市民活動相談・ヒアリング対応	6
	鎌倉市市民活動センター運営会議運営支援（受託事業）	6
	NPO法人ぐらすかわさき設立支援（受託事業）	6
(2)まちづくりに関する 情報収集と提供	ホームページの運営	6
	「らびっと通信」の発行	8
	「らびっとにゅうず」の発行	8
(3)まちづくりに関する 調査研究	川崎市地球環境保全行動計画推進会議運営支援 （受託事業）	10
	サポートセンター、NPOと行政の協働、NPOと企業との協働、NPO支援条例等についての調査分析	10
(4)まちづくりに関する 講座・研修等の企画・運営	「ボランティア国際年シンポジウム IN かながわ」企画運営 （受託事業）	10
	市民活動のためのホームページ作成講座の開催	11
	ファイバーリサイクルネットワークシンポジウムの企画運営 （受託事業）	11
	「保土ヶ谷区シニアボランティア養成講座」の企画運営 （受託事業）	12
	「泉区男性ボランティア養成講座」企画運営（受託事業）	12
	横浜市環境月間実行委員会・環境保全活動成果発表会の運営サ ポート	12
(5)まちづくりに関する 資料等の発行	「たあとる通信」の発行	13
	「もっともっともっと神奈川」の発行支援	13
	「かながわの市民社会 1990's」の発行	14
	「福祉の市民活動イエローページ 2001」の編集（受託事業）	14
(6)まちづくりに関する 講師等の派遣	講師等の派遣	14
(7)市民団体等に対する 支援・助成	市民ネットワーク・相模川事務局	15
	かながわNPO法研究会事務局	15
	よこはま市民運営施設ネットワーク事務局	15
(8) その他	かながわボランティア活動推進基金 21 に関する政策提言	16
	企業とNPOのマッチングセンター設立準備	16
	子どもファンド設立準備	17

目的・中期目標に照らした事業実施状況

1. 基盤事業

事業	政策提案	相談・コンサルティング	情報収集と提供	調査研究	講座・研修	資料発行	講師等の派遣	支援・助成
市民活動相談・ヒアリング対応								
ホームページの運営								
「らびつとにゆうず」の発行								
「たあとる通信」の発行								
講師派遣								

2. プロジェクト(太枠は、そのプロジェクトの主たる事業内容)

目的	中期目標	プロジェクト	事業内容							その他
			相談・コンサルティング	情報収集と提供	調査研究	講座・研修	資料発行	講師等の派遣	支援・助成	
地域社会の自立に向けた社会システム・制度の実現	1 神奈川県におけるNPOと行政の協働システムの本格的稼働	「ボランティア国際年シンポジウム IN かながわ」企画運営(受託事業)				シンポジウムの企画運営	報告書・ビデオの発行		実行委員会事務局業務	
		「かながわボランティア活動推進基金21」に関する政策提言(自主事業)		基金21メーリングリストの開設	協働のプロセスのあり方について	協働事業を考えるフォーラム(共催)				県との協議と事業の進め方に関する提案
		サポートセンターのあり方、NPO支援条例についての調査			県内サポートセンター、全国各地のNPO支援条例の実態帖佐		調査の結果をたあとる通信として発行			
		川崎市地球環境保全行動計画推進会議運営支援(受託事業)			推進会議を通じた市民・事業者・学校・行政の協働の模索	「川崎市地球環境フォーラム」の企画	「事業者のグリーン購入の手引き」の編集			
	2 神奈川県におけるNPOと企業の協働システムの本格的稼働	企業とNPOのマッチングセンター設立準備(自主事業)					企業とNPOのコラボレーションセミナー			設立準備会の運営
		子どもファンド設立準備(自主事業)								子どもファンド研究会の運営

地域社会における多様な主体間の合意形成	3 地域のNPO シップの養成	「もっともっともーっとかな 神奈川」の発行支援（自主事 業）					「もっともっ ともーっとか な神奈川」の発 行		「もっか な隊」事 務局	
		「かながわの市民社会 1990's」の発行 （自主事業）			神奈川の地域課題調 査のとりまとめ		「かながわの 市民社会 1990's」の発行			
		「福祉の市民活動イエローペ ージ2001」の編集（受託事業）					イエローペ ージの編集			
		市民活動のためのホームペ ージ作成講座の開催（自主事業）				ホームページ作成講座 の開催				
		「保土ヶ谷区シニアボランテ ィア養成講座」の企画運営（受 託事業）				講座の企画運営				
		「泉区男性ボランティア養成 講座」企画運営（受託事業）				講座の企画運営				
	4 NPOの合意 形成・政策提案 力の向上	鎌倉市市民活動センター運営 会議運営支援（受託事業）	運営に関す る課題解決 支援					「鎌倉市民活 動白書 - 風と 潮流」作成の支 援		
		NPO法人ぐらすかわさき設 立支援（受託事業）	法人化のコ ンサルティ ング							
		「ファイバーリサイクルネット ワークシンポジウム」の企 画運営（受託事業）				シンポジウムの企画・運 営				
		横浜市環境月間実行委員会・ 環境保全活動成果発表会運営 サポート（受託事業）	実行委員 会の運営コ ーディネー ト							
		市民ネットワーキング相模川 事務局							事務局業 務	
		かながわNPO法研究会事務 局					「支援税制を考える神 奈川集会」の企画運営		事務局業 務	
		よこはま市民運営施設ネット ワーク事務局							事務局業 務	

## 1. まちづくりに関する相談・コンサルティング

### (1) 市民活動相談・ヒアリング対応（電話相談・来所）

市民活動相談では、NPO法人化に関わる相談は減少し、法制定当初の混乱が一段落したようです。その一方で、法人化した団体からの運営マネジメントや決算などに関する相談が見られるようになりました。

その他、自治体やコンサルタントからの視察や行政との関係についてのヒアリング、学生のヒアリングなどがありました。

市民活動相談：無料

NPO法人格取得相談：会員無料、非会員 1 時間 3000 円

ヒアリング：1 時間 10,000 円

### (2) 鎌倉市市民活動センター運営会議運営支援

#### 【鎌倉市市民活動センター運営会議からの受託事業】

2000年に発行された「鎌倉市民活動白書 - 風と潮流」作成の支援、その他運営にともなう課題解決のためのサポート等を行いました。

### (3) NPO法人ぐらすかわさき設立支援

#### 【ぐらすかわさきからの受託事業】

川崎市多摩区を中心に市民の交流の場づくりと活動支援を行うNPO法人ぐらすかわさき設立のために、組織化の合意形成や法人化の手続きについてのコンサルティングを行いました。

## 2. まちづくりに関する情報収集と情報提供

### (1) ホームページの運営

2000年8月に、ホームページのリニューアル版を本格的にスタートさせ、らびっとにゆーずと連動させ月2回の更新を行ってきました。

ホームページ内容一覧

	内容	検討課題
トップページ	トピックス：基金 21 の状況や呼びかけを始め、アリスから広く発信したい情報を掲載 お知らせ：アリスセンターの発行物を掲載する サイト内キーワード検索：アリスセンターのサイト内全文をキーワードで検索できる。	サイト内キーワード検索がうまく作動していない。システムの見直しを急ぐ必要あり。
イベント情報	将来、来月、今月、過去(過去 10 年間のイベント情報約 6000 件) イベント情報のキーワード検索	将来、来月、今月、過去の区分へのデータの自動更新 キーワード検索を可能とする。
らびっと通信	らびっと通信バックナンバー一覧と特集タイトルのカテゴリ検索 らびっと通信の一部記事の全文紹介 たあとの通信バックナンバー一覧	「たあとの通信」の目次紹介が「らびっと通信」の中にありわかりにくい。「たあとの通信」を独立させる必要あり。 らびっと通信特集記事の掲載
市民の主張	県内の市民活動団体が主張や活動内容を発信する WEB ショーケース モデル掲載団体 ・ふじさわNPO連絡会	モデルとして掲載した団体以外、これまで掲載の申し込みなし。PR の必要あり。
紛争地図	神奈川県内各地で起こっている問題に対する市民の活動を紛争マップで地域別に紹介 紛争一覧 川崎 久本山・熊の森ナショナルトラスト、末長・久本山(熊の森)開発、岡本太郎美術館、武蔵工大原子炉事故、三浦 芦名産業廃棄物処分場建設計画、JNF 原子力施設、湘南 鎌倉台峰緑地の宅地造成計画、引地川ダイオキシン、相模 相模補給廠の PCB、津久井 藤野町産業廃棄物処分場問題、愛甲 厚木市にたてつく団体には部屋を貸さない、愛川町道路計画反対、丹沢 第二東名計画反対、水無堀山林トンネル、箱根 ポーラ美術館、相模川 相模大堰 横浜、西湘、高座、山北、足柄、芦ノ湖、多摩川、鶴見川、境川、相模湾、東京湾は調査中 活動団体ホームページへのリンク	紛争情報の収集と掲載情報の定期的な更新。
相談窓口	アリスセンター相談業務紹介 他団体相談窓口案内(HPへのリンクあり) ・障害者自立生活支援ヒューマンコミュニティセンター・川崎 ・横浜りすの会 ・かながわ女のスペースみずら ・下宿屋バンク ・神奈川県国際交流協会 ・かながわ県民活動サポートセンター	他団体相談窓口の開拓
関連団体	アリスセンターが事務局を担ってきた市民団体を紹介 ・神奈川森林エネルギー工房 ・ファイバーリサイクルアーカイブ ・ファイバーリサイクルネットワーク ・ピアネット ・市民ネットワーク相模川 ・かながわNPO法研究会	
リンク集	県内各種団体ホームページへのカテゴリ別リンク集 環境 16、反原発 1、平和 1 団体、芸術文化 0、人権 0、福祉 2、国際関係 2、男性・女性 0、教育・子ども 4、まちづくり 1、医療・健康 2、災害 0、市民活動・NPO 1	他団体リンク先の開拓

推薦図書	アリスセンター推薦図書（HPから購読申し込み可能） 他団体関連図書	関連図書の発掘 関連図書のHP上での受付方法の開拓。
エコ度チェック	「地球を救う127の方法・日本版」（93年にアリスセンターが事務局となって発行したリーフレット）からピックアップした項目でのチェック・判定	
アリスセンター	理事会報告（月1開催）、事務局日誌（月2更新）、事業内容、あゆみ（年度別主要事業一覧）、総会資料	

## （２）「らびっと通信」の発行

1988年のアリスセンター発足以来、月2回会員を対象に発行し続けてきた「らびっと通信」は、前半が特集、後半がイベント情報のスタイルを取りつづけてきました。特集については、月2回というペースや10ページ前後という制限が、問題提起や政策提言を中途半端なものとしざるを得ませんでした。「イベント情報」については、各団体が独自に情報発信を行ったり、様々な支援機関でイベント情報を掲載するなど、アリスセンターがイベント情報に力を言われる意義も薄れ、また、イベントのような速報性や不特定多数への情報発信が期待される情報は、インターネットで発信した方が効果的になりつつありました。そこで、従来の「らびっと通信」を2000年12月をもって廃刊とし、「らびっとにゆうず」と「たあとる通信」へと機能分化させました。

### 「らびっと通信」特集一覧

267号（2000/8/5・20）	・NPO法人と企業の関わり方 ・イギリスエコツアー続き～イギリスのチャリティショップ
268号（2000/9/5）	・どうなるのNPOの税制優遇 ・太陽光発電市民共同発電所1号機設置顛末記前編
269号（2000/9/20）	・評価でNPOを元気にするパート3市民活動・NPO ・廃材からエネルギーを！調査開始 ・太陽光発電市民共同発電所1号機設置顛末記後編
270号（2000/10/5）	・末長・久本山（熊野森）開発に反対する 環境 ・鎌倉「台峰の自然を守る会」
271号（2000/10/20）	・2000年度総会報告
272号（2000/11/5）	・「奉仕活動の義務化」に異議あり
273号（2000/11/20）	・NPO支援を考えるー行政との関係を中心にー ・丹沢・クマタカシンポジウム
274号（2000/12/5）	・『NPOの可能性』開催されるー市民と地域の自立をめざしてー ・速報！ボランティア国際年シンポジウム in かながわ
275号（2000/12/20）	らびっと通信最終号

## （３）「らびっとにゆうず」の発行

2001年1月から、月2回メールマガジンを中心とする「らびっとにゆうず」を発行しました。「らびっとにゆうず」は「らびっと通信」のイベント情報を掲載するとともに、その時々のアリスセンターからの呼びかけや、県内の注目すべき動きを紹介するトピックスに力を入れてきました。

また、らびっとにゆうずの掲載内容はHPにも掲載し、さらに会員以外でも希望者には

メールマガジンを配信することで、より広い層へのキャンペーンや情報発信を試みました。インターネットを使っていない会員には、FAX、郵送で送っています。

「らびっとにゆうず」トピックス一覧

VOL 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内自治体にIT講習会提案中</li> <li>・どうなるNPO税制</li> <li>・NPO法人ソフトエネルギープロジェクト事務所開設</li> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」創設</li> </ul>
VOL 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市高津区に「川崎子ども夢パーク」構想</li> <li>・インド西部地震救援活動</li> </ul>
VOL 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」内容紹介</li> <li>・米原潜「グリーンヒル」による「えひめ丸」衝突事件への抗議声明紹介</li> </ul>
VOL 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の位置づけ変更提案</li> <li>・「市民活動のためのHP講座」案内</li> <li>・「市民運営施設フォーラム」案内</li> </ul>
VOL 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリスが事務所を探しています</li> <li>・「たあとる通信」2号のお知らせ</li> </ul>
VOL 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」県との協議案内</li> <li>・よこはま里山研究所オープン</li> </ul>
VOL 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリスWEBサイト内にHPをつくろう</li> <li>・学校用学習椅子セット希望団体募集</li> <li>・「らびっとにゆうず」会員以外の方へのメール配信</li> </ul>
VOL 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」第2回協議会報告</li> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」幹事会候補公募案内</li> </ul>
VOL 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」第1回審査会報告</li> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」フォーラム案内</li> <li>・神奈川県PCB適性処理研究会案内</li> </ul>
VOL10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもファンド研究会立ち上げのお知らせ</li> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」幹事会メンバーの紹介 / 第1回幹事会報告</li> <li>・「協働事業を考えるフォーラム」の案内</li> </ul>
VOL11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県PCB適性処理研究会第1回報告</li> <li>・ごまめ通信舎神奈川県選挙区立候補予定者アンケート結果のお知らせ</li> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」報告</li> </ul>
VOL12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリス総会日程お知らせ</li> <li>・NPO共同事務所入居の案内</li> <li>・「たあとる通信」3号、「かながわの市民社会1990」発行のお知らせ</li> <li>・相模大塚控訴審はじまる</li> </ul>
VOL13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かながわボランティア活動推進基金21」審査会・幹事会のお知らせ</li> <li>・NPO共同事務所入居の案内</li> </ul>

### 3. まちづくりに関する調査研究

#### (1) 川崎市地球環境保全行動計画推進会議運営支援

##### 【川崎市（環境局）からの受託事業】

川崎市では地球環境保全行動計画を進めるために市民部会・事業者部会・学校部会・行政部会からなる推進会議が設置されています。推進会議（特に市民部会）の支援を通して市民・事業者・学校・行政のパートナーシップを模索するとともに、事業者部会で発行した「事業者のグリーン購入の手引き」の編集、「川崎市地球環境フォーラム」（2000年3月）の企画・運営を行いました。

#### (2) サポートセンターのあり方、NPO支援条例、等

サポートセンターについては、県内の県内の公設、民設のサポートセンターの情報を集め、サポートセンターのあり方を分析しました。また、NPO支援条例については、全国各地のNPO支援条例を取材し、その実態を分析しました。こうした成果は、たあとる通信創刊号～3号に特集として報告しました。

### 4. まちづくりに関する講座、研修等の企画・運営

#### (1) 「ボランティア国際年シンポジウムINかながわ」の企画運営

##### 【内閣府からの受託事業】

2001年のボランティア国際年に先駆け、内閣府（元経済企画庁）と神奈川県が主催する「ボランティア国際年シンポジウムIN神奈川」の開催業務を受託しました。シンポジウムの企画運営にあたっては、公募したNPO等で実行委員会をつくり、分科会等の各プログラムを分担して担いました。

なお分科会の一部や交流会は、実行委員会と神奈川県の主催事業として行いました。

日時：2000年11月8日（土）9:30-17:30（交流会 17:40-19:00）

会場：かながわ県民活動サポートセンター（横浜市神奈川区）

テーマ：市民と地域の自立をめざして

主催：内閣府、神奈川県

企画協力：ボランティア国際年シンポジウムINかながわ実行委員会

参加者数：300人

プログラム一覧

- ・オープニング（のむぎ平和太鼓・ビデオ上映～県内のNPO活動紹介）
- ・パネルディスカッション  
「NPOって何だろう～一人ひとりを大切に作る社会に向けて」
- ・分野別セミナー1「NPOの人材養成」
- ・分野別セミナー2「NPOの政策提言」
- ・分野別セミナー3「NPOの緊急サポート」
- ・分科会1「NPOと行政の協働社会・新しい公共サービスに向けた具体的システムづくり」

- ・分科会2「地域社会におけるNPOと企業との協働」
- ・分科会3「市民とNPOを元気にするインターネット」
- ・全体会

実行委員会と神奈川県主催事業

- ・特別分科会「NPO税制と個人寄付金控除制度」
- ・交流会

報告書とビデオの発行

シンポジウムの記録をまとめ報告書として発行しました。また、シンポジウムのオープニングで上映したビデオを頒布しました。

- ・報告書：A4版54ページ、1200円
- ・ビデオ：15分、2000円

## (2) 市民活動のためのホームページ作成講座（初心者向け）

2000年6月～7月に実施した「HP活用講座」に続き、初心者向けの実技習得とあわせた講座を開催した。NTT神奈川支社と協力事業。NTTが会場を提供し、顧客サービスとして実施している研修メニューを一部取り入れた。なお、アリスセンター会員への参加費割引とあわせて、NTTマイライン加入者（申込者）への割引も実施した。

日時：2001年3月23日（金）3月30日（金）13:00～16:00

会場：NTT横浜遊電地（横浜市西区）

参加者数 1日目16人 2日目15人

プログラム

1日目：市民団体がインターネットを使う意義。

実技編：ブラウザの基本操作、ホームページの検索

2日目：市民団体の情報戦略

実技編：簡単なホームページ作成（NTT専用ソフト利用）

講師：浜田忠久（JCAFE：市民コンピューターコミュニケーション研究会）

## (3) 「ファイバーリサイクルネットワークシンポジウム」の企画運営

【ファイバーリサイクルネットワークからの受託事業】

日時：6月2日（土）13:00-17:00

会場：フォーラムよこはま（横浜市西区）

テーマ：循環型社会...それぞれの思惑

主催：環境維新・かながわ、ファイバーリサイクルネットワーク

参加者数：120人

プログラム：

第1部 問題提起

ファイバーリサイクルの今

容器リサイクル法の課題

循環法、法律と現実  
第2部 パネルディスカッション

(4) 保土ヶ谷区シニアボランティア養成講座の企画運営

【保土ヶ谷区地域福祉課からの受託事業】

50才以上の男性を対象に、自分の身の回りからボランティア活動の「種」を見つけるコツを伝え、実践する講座の企画運営を行いました。講座終了後、受講生によって「デジタルボランティア」グループが発足しました。

講座名：「えっ、これもボランティア？」講座

日時：2000年9月2日(土)～10月7日(土)全5回

会場：横浜ビジネスパークイーストタワー他(横浜市保土ヶ谷区)

参加者数：28人

プログラム

ボランティア概念をぶちこわせ！(講師：木原孝久氏)

みつけたぞ！ボランティアの種(コーディネーター：木原孝久氏)

現状のボランティア活動を知る！

実践編「やってみよう！」

まとめとこれからのこと

(5) 泉区男性ボランティア養成講座の企画運営

【泉区地域福祉課からの受託事業】

ボランティア活動を希望する男性を対象に多様なボランティア活動内容を紹介する講座の企画運営を行いました。

講座名：男性のためのボランティア講座

日時：2000年3月10日(土)～3月24日(土)全3回

会場：泉区役所会議室(横浜市泉区)

参加者数：30名

プログラム

男性中心のボランティア活動紹介(99倶楽部、南区リリーフ倶楽部紹介)

これからはこんなボランティア活動も広がっていく(青葉バリアフリーサポート21、多文化まちづくり工房紹介)

ボランティア的生き方論(講師：十文字修氏)

(6) 横浜市環境月間実行委員会・環境保全活動成果発表会の運営サポート

【横浜市からの受託事業】

横浜市環境月間実行委員会と横浜市環境保全活動成果発表会開催に向けて、部会をつくり企画運営が行われましたが、その部会の運営サポート及び、発表会当日の運営サポートを実施しました。

日時：2001年6月17日(日)

会場：横浜市市民活動支援センター

主催：横浜市環境保全局

参加者数：150名

プログラム：成果発表会と交流プログラム「環境保全活動せり市・  
はないちもんめ」、発表会の表彰

## 5. まちづくりに関する資料等の発行

### (1) 「たあとる通信」の発行

これまでの「らびっと通信」の特集部分をさらに充実させ、分析・政策提言の書としての位置づけを明確にした情報誌として2001年2月より季刊発行しています。

各号担当理事を決め、一つのテーマに絞った特集とその他「注目の動き」のコーナーで、UP TO DATEな活動や課題を紹介しています。

それぞれ特集テーマに沿った購読者層に向けて広報宣伝活動を行い、会員以外の購読者が増えています。また、新規入会のほとんどは「たあとる通信」の購読がきっかけです。

#### 発行部数と頒布状況（2001年8月末現在）

	発行部数	会員等送付	頒布	残
創刊号	500	300	200	0
第2号	600	300	200	100
第3号	600	300	150	150

#### 「たあとる通信」目次一覧

創刊号（2月28日発行） 40頁	特集「サポートセンターを考える」 注目の動き「NPO税制」「相模大塚判決」
2号（4月20日発行） 60頁	特集「企業とNPOのコラボレーション」 注目の動き「協働を検証する」 その他「公設NPO運営のジレンマ」
3号（8月1日発行） 40頁	特集「NPO支援条例を考える」 注目の動き「かながわボランティア活動推進基金21」経過報告

### (2) 「もっともっともーっと神奈川」の発行支援

1998年から13人の編集委員を募り、神奈川県内のおもしろい48人の取材記事と277の市民団体を紹介する本の編集を行い、2000年10月に「もっともっともーっと神奈川」として発行しました。

発行：夢工房

編集：もっかな隊（連絡先アリスセンター）

体裁：B版240頁

頒価：1,500円

発行部数：2000部

7月末現在印刷費252万円のうち160万円を支払い、残り92万円が未払いとなっていますが、イベントなどで販売しています。

(3) 「かながわの市民社会 1990's」の発行

(財)トヨタ財団の助成を受け 1990 年度に行った「かながわの地域課題調査」の結果をとりまとめて、「かながわの市民社会 1990's～アリスセンターの 10 年を通じて」を 2001 年 7 月に発行しました。

体裁：A 4 版約 100 ページ

発行部数：600 部

頒価：2,500 円

内容

第 1 部 神奈川県内の市民活動の変化

第 2 部 市民活動の現場の動き

第 3 部 アリスセンターの活動の変化

(4) 「福祉の市民活動イエローページ 2001 活動種別団体一覧(横浜版)」の編集

【横浜市社会福祉協議会ボランティアセンターからの受託事業】

1997 年 3 月に発行した「福祉サービスイエローページ横浜版地域別活動団体一覧」の改訂版。データ入力「横浜市障害者地域作業所 ごぼうハウス PC」が担当し、アリスセンターは編集を担当しました。97 年当時 270 だった掲載団体が今回は 982 団体となりました。

6. まちづくりに関する講師等の派遣

講師・コーディネーター

21 世紀の働き方シンポジウム(神奈川県商工労働部)	川崎
市民フォーラム 21 NPO センター(愛知県) 総会記念講演	川崎
神奈川県自治総合研究センター県職員研修	饗庭、土屋
共働舎 NPO 講座	土屋
学生グループ IYN「大人に学ぶ」	土屋
かながわ NPO 大学	菅原、内海、饗庭
三重県 NPO 評価見本市	土屋
生活クラブ生協 VISION21 研修	川崎、土屋
呉まちづくりフォーラム(広島県呉市)	川崎
経営者協会主催企業福祉セミナー	土屋
神奈川県職員自主研究グループ学習会	川崎
埼玉 NPO センター「NPO 講座」	土屋
北海道 NPO サポートセンター「NPO 経営指導者育成講座」	土屋
生活クラブ三浦ブロック理事会コーディネーター	綿引
ゴミ問題を考える県民討論会(神奈川県)	川嶋
不法投棄について市町村職員向け研修	川嶋
エコライフかながわ「NPO」基礎講座	川崎、土屋
ボランティア活動における中高年男性の役割	川崎
鎌倉 NPO 入門講座	土屋

仙台市市民活動講座	土屋
埼玉NPOセンター市民的調査研究講座	土屋
横浜市民カレッジ	土屋、川崎
かながわボランティアセンターNPOマネジメントセミナー	川崎
シェルターDV問題調査研究会議	川崎

#### 委員会等

平塚市市民活動条例検討委員会	綿引
神奈川県青少年研修センターブックレット作成委員会	綿引
神奈川ゆめコープ市民活動支援助成金運営委員会	綿引
かながわ県民活動サポートセンター運営協議会	川崎
川崎市協働のための委員会	土屋
相模川水系土砂管理懇談会	川嶋
神奈川県廃棄物減量化懇話会	土屋
神奈川IT推進協議会NPO部会	川崎
長崎県協働のための委員会	土屋
神奈川県PCB適正処理研究会	川嶋
逗子市市民活動推進検討協議会	土屋

## 7. 市民団体等に対する支援・助成

### (1) 市民ネットワーキング・相模川事務局、NPO法人相模川倶楽部設立支援

相模川不法投棄の調査に対し地球環境基金より助成を受け、より具体的な調査活動を行いました。アリスセンターでは調査活動の事務局を担うとともに、市民ネットワーキング・相模川のメンバーが中心となって立ち上げた相模川倶楽部のNPO法人化を支援しました。

### (2) かながわNPO法研究会事務局

2000年は、NPO支援税制創設のための動きが全国各地でもりあがり、かながわNPO法研究会も、学習会や国会への要請行動などを行うとともに、2000年11月には、横浜で「NPO支援税制を考える神奈川集会」を開催し、約130名が参加しました。

2001年には、湘南と県央で、それぞれの地域のNPO関係者、JC（青年会議所）、自治体担当者が意見交換する交流会を開催しました。

アリスセンターでは、主にNPO支援税制を求める動きにおいて、全国的な動きとの連携、県内NPOへの呼びかけなどの窓口となりました。

### (3) よこはま市民運営施設ネットワーク事務局

横浜市内の公設市民運営の地域施設に関わる市民が中心となって、1999年3月に発足したネットワーク。2000年8月～11月には、市民運営施設である「山手234番館」「舞岡公園」「エコライフかながわ」「都筑民家園」で開催した市民運営施設連続研究会を開催し、2001年3月には「市民運営施設Part2～市民運営施設をまちづくりの拠点に」を開催しました。

## 8. その他

### (1) かながわボランティア推進基金 21 に関する政策提言

神奈川県が 2001 年度から県内の「ボランティア団体等」を対象として「協働事業への負担金」等を盛り込んでスタートさせることになった「かながわボランティア活動推進基金 21」について、協働のシステムをつくるプロセスにこそ NPO が参加すべきだという考えから、県に対する働きかけ、県内 NPO への呼びかけや情報発信を行いました。

その結果、県と NPO の協議の場の設置、審査方法や審査メンバーなどへの提案の一部反映などの成果は得ることができましたが、基金 21 の目的や進め方を時間をかけて検討すべきだという提案は、県だけでなく他の NPO からの反対意見もあり、事業の開始（公募実施）は 2001 年 9 月となりました。

#### 神奈川県との協議

県民活動サポートセンターの「パートナーシップルーム」の制度に基づいて、基金 21 の進め方に関する協議を申し入れ、4 月と 5 月に 2 回の協議をもちました。NPO 側はアリスセンターとアリスセンターが呼びかけた 4 団体、県側は県民部県民総務室・かながわ県民活動サポートセンターで協議を行いました。

#### 審査会のもとに設置される幹事会委員の推薦公募

協議の中で、基金 21 の審査会のもとに設置される幹事会委員の推薦公募を提案し、協議団体として、推薦者を公募しました。推薦者から 1 名が幹事会に加わることになりました。

#### 基金 21 NPO サポートーズの発足

協議団体を中心に、広く県内 NPO に呼びかけて、「基金 21 NPO サポートーズ」の発足を準備しました。8 月以降、基金 21 に関する提案等は、「基金 21 NPO サポートーズ」（当面の事務局アリスセンター）として行うことになりました。

#### 「基金 21 実施検討案」と「審査会・幹事会の議論の整理」の作成

基金 21 を実施するために検討が必要な項目とその内容を提案した「基金 21 実施検討案」を作成し、サポートーズ準備会として審査会・幹事会に提案しました。また、審査会・幹事会で議論したことを整理した資料を作成し、サポートーズ準備会として審査会・幹事会に提供しました。

詳細については資料 1 参照

### (2) 企業と NPO のマッチングセンター設立準備

ボランティア国際年シンポジウム IN かながわ」の分科会「地域社会における NPO と企業の協働」の企画運営に参加した NPO 関係者、企業関係者ととともに、企業と NPO の協働事業や資源提供のマッチングを仲介するセンターを設立するための準備会を立ち上げ、マッチングセンターの構想案の作成、セミナーの開催を行いました。

セミナー「企業と NPO のコラボレーション～地域社会で、企業と NPO の協力・連携をどう進めるか」

・日時：6 月 6 日（水）16:00～18:00

- ・会場かながわ労働プラザ
- ・プログラム

事例報告：山本 久雄（NPO法人福祉と防災推進サポートネット）

講演：川北 秀人（I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]）

### （3）子どもファンド設立準備（子どもファンド研究会の運営）

神奈川県内の子どものための居場所（フリースクール、フリースペース）の主宰者等によびかけ、2001年6月「子どもファンド研究会」を立ち上げました。

子どものための居場所を資金的に支える民間ファンド（職域募金）の設立をめざし、月2回程度の研究会を4回開催し、事業計画の立案等を行いました。

#### 参加団体

フリースペースたまりば、のむぎ地域文化センター、特定非営利活動法人びーのびーの、特定非営利活動法人コロンブスアカデミー、特定非営利活動法人楠の木学園

#### 協力団体

特定非営利活動法人パブリックリソースセンター、市民セクターよこはま

#### 研究会内容

参加団体概要紹介 / 民間ファンドの概念紹介

新メンバー紹介 / 研究会の目的確認 / 今後の事業計画案検討 / 運営体制

2002年4月までの事業計画確認 / 活動の社会的意義を示す資料の検討

ワーク（子どもをめぐる状況 / 現在の社会的変化等について問題意識の共有）

### （4）その他協力事業等

大岡川リバーボランティア養成講座事務局・チラシ作成

2000年11月から2001年4月にかけて大岡川流域まちかわ衆主催で開催した講座の参加者受付等の事務及びチラシ作成を行いました。

トコボンプロジェクトへの協力

1999年から「行政とNPOのパートナーシップ」をテーマに訪米調査を中心に研究を進めてきましたが、今年度はサンフランシスコから3人を招聘し、アメリカのパートナーシップの話を伺うとともに、日本の状況を議論しました。アリスセンターはトコボンプロジェクトの構成団体として協力しました。

1月27日に東京で行われたシンポジウムを皮切りに、神奈川で2、東京で2つのシンポジウムが行われ、福岡で、長崎でもシンポジウムを開催しました。

評価システム研究会への参加

NPOの評価をテーマに、NPO研修情報センターを事務局に、全国の5つのサポートセンターが参加して、調査・研究をすすめています。2000年度には4回のシンポジウムを開催したが、2000年10月7日には横浜でワークショップを行い、神奈川県内の支援センターをはじめ、約80名の参加者がありました。

5月には訪米調査を実施し、2002年3月には最終報告書をまとめる予定。